

協働主事会主催 平和宣教月間プログラム

平和祈念礼拝と語り部に聴く集い

2025 年 8 月 15 日(金) 11 時～

横浜山手聖公会



1945 年 5 月 横浜大空襲により
焼失した聖堂



1947 年 修復工事中の
大工さん



1947 年 青空の下でのイースター礼拝

戦後 80 年を迎え、協働主事会では教区の平和宣教月間プログラムとして、「平和祈念礼拝と語り部に聴く集い」を企画しました。

終戦記念日である 8 月 15 日「主の母聖マリヤ日」に、横浜山手聖公会にて教区の信徒・聖職が集い、教区主教司式による聖餐式をささげ、お二人の語り部の方に、横浜大空襲の体験や、戦中・戦後のサミュエル・ヘーズレット主教、須貝止主教の歩みについてお話しいただきます。教区の皆さん、特に青年の皆さんに、平和と信仰の大切さについて覚えていただきたいと思います。一人でも多くの皆さんのご参列、ご参加をお待ちしています。

プログラム

11:00～「主の母聖マリヤ日」聖餐式（司式：入江修主教）

※代祷の中で平和を祈念します。

12:00～平和の語り部に聴く

①12:00～12:15「横浜大空襲の体験」ルカ野村弘光氏（横浜山手聖公会信徒）

②12:15～12:45「山手の小聖堂が語りかけること」

－その正式名称「ヘーズレット主教・須貝主教記念小聖堂」を切り口として－
ジュリアン中村茂氏（横浜山手聖公会信徒）